

# 阿賀野市商工業景況調査報告書

実施主体 阿賀野市商工業振興協議会

構成商工会名 安田商工会、京ヶ瀬商工会

水原商工会、笹神商工会

## 1. 調査要領

### (1) 調査対象

- ア 対象地区 阿賀野市4商工会地区内小規模事業者等  
イ 調査企業数 120 事業所 (うち小規模事業者数 119 事業所)  
ウ 回答企業数 120 事業所 (うち小規模事業者数 119 事業所)  
(回答率 100.0%)

### (2) 調査対象期間

- 令和元年7月～令和元年12月  
(調査時点 令和元年12月1日)

### (3) 調査方法

- 経営指導員等による巡回または窓口によるヒアリング調査  
令和元年7月から12月までの半年間の経営実績と前年同期（H30年7月～12月）と前期（H31年1月～R1年6月）との経営実績を比較した場合と来期（令和2年1月～6月）の見通しについて調査を実施しました。

### (4) 調査対象と回答企業の構成

	調査対象		有効回答	
	企業数	構成比	企業数	構成比
製造業	16	13.3%	16	13.3%
建設業	38	31.7%	38	31.7%
卸・小売業	28	23.3%	28	23.3%
サービス業	38	31.7%	38	31.7%
合計	120	100.0%	120	100.0%

### (5) 阿賀野市の商工業の構成状況 (平成31年4月現在)

- 阿賀野市の商工業者数は、1,798社（うち小規模事業者数は1,580社）となっています。  
業種別では、製造業が207社（11.5%）、建設業が509社（28.3%）、卸・小売業が417社（23.2%）、サービス業（飲食・宿泊業含む）が580社（32.3%）、その他85社（4.73%）の構成となっています。  
この度の4商工会合同景況調査は、阿賀野市の小規模事業者等のおよそ7.6%にあたる120社の企業の方々からご協力をいただき実施したものです。  
(注) 小規模事業者とは ⇒従業員が20人以下（商業・サービス業では5人以下）の事業者

## 2. 地域内小規模事業者等の景況概要

阿賀野市内の小規模事業者の多くは、前期比において売上高、採算が「増加」「好転」と回答した事業所が増えていますが、今後の見通しについては、大半の調査項目で「悪化」「減少」と回答している事業所が増えており、更に厳しい状況が予想されます。

景況判断としては、全ての業種で今後の景気回復に期待がもてない厳しい状況が続くと判断しています。

### 【後継者の状況】

半数を超える事業所で後継者がいない状況であり、卸・小売業の64.3%が「後継者なし」と回答しており最も高い数値でした。全国的に後継者不足の傾向にあり、持続可能な地域経済を目指すためにも早急な事業承継対策が必要と思われます。

後継者 あり	51事業所	42.5%
後継者 なし	69事業所	57.5%

### 【売上高】

前年同期比では「減少」が最も多い回答でしたが、前期比では「増加」「不変」「減少」とも拮抗した回答でした。建設業では前年同期比・前期比とも「増加」の回答が多くありましたが、今後の見通しでは全ての業種で「減少」の回答が多く、見通しが厳しい状況であることが伺えます。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
増加	不変	減少	増加	不変	減少	増加	不変	減少
29	41	50	36	44	39	15	49	54
24.1%	34.2%	41.7%	30.2%	37.0%	32.8%	12.7%	41.5%	45.8%

### 【採算】

前年同期比、前期比では「好転」の回答が20%を超えていましたが、今後の見通しでは「好転」が11.9%まで減少し、「不変」「悪化」が大半を占めています。製造業では今後の見通しで「好転」と回答した事業所はありませんでした。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
26	48	46	32	54	33	14	55	49
21.7%	40.0%	38.3%	26.9%	45.4%	27.7%	11.9%	46.6%	41.5%

### 【仕入単価】

業種全般において、仕入単価は「上昇」「不変」の回答が大半を占めており、利益や採算性を圧迫していることが伺えます。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
上昇	不変	低下	上昇	不変	低下	上昇	不変	低下
56	56	8	54	59	6	52	59	8
46.7%	46.7%	6.6%	45.4%	49.6%	5.0%	43.7%	49.6%	6.7%

### 【販売（客）単価】

前年同期比、前期比、今後の見通しとも「不変」の回答が7割前後を占めており、客単価に大きな変化はなく今後も上昇を望めない状況にあります。製造業では今後の見通しで「上昇」と回答した事業所はありませんでした。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
上昇	不変	低下	上昇	不変	低下	上昇	不変	低下
12	84	24	15	83	21	13	80	25
10.0%	70.0%	20.0%	12.6%	69.7%	17.7%	11.0%	67.8%	21.2%

**【資金繰り】**

前年同期比、前期比、今後の見通しとも「不変」「悪化」が大半を占めています。今後の見通しでは「悪化」と回答した事業所は全業種で増えており、資金繰りが厳しくなることが伺えます。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
7	87	23	6	86	24	7	75	34
5.9%	74.4%	19.7%	5.2%	74.0%	20.8%	6.0%	64.7%	29.3%

**【雇用動向】**

前年同期比、前期比、今後の見通しとも「不変」の回答が8割を超えており大きな変化は見受けられません。但し、「経営上の問題点」の回答では建設業で「従業員の確保」を挙げている事業所が多く、人材不足が表面化しています。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
増加	不変	減少	増加	不変	減少	増加	不変	減少
3	96	19	6	95	16	6	97	14
2.5%	81.4%	16.1%	5.1%	81.1%	13.8%	5.1%	82.9%	12.0%

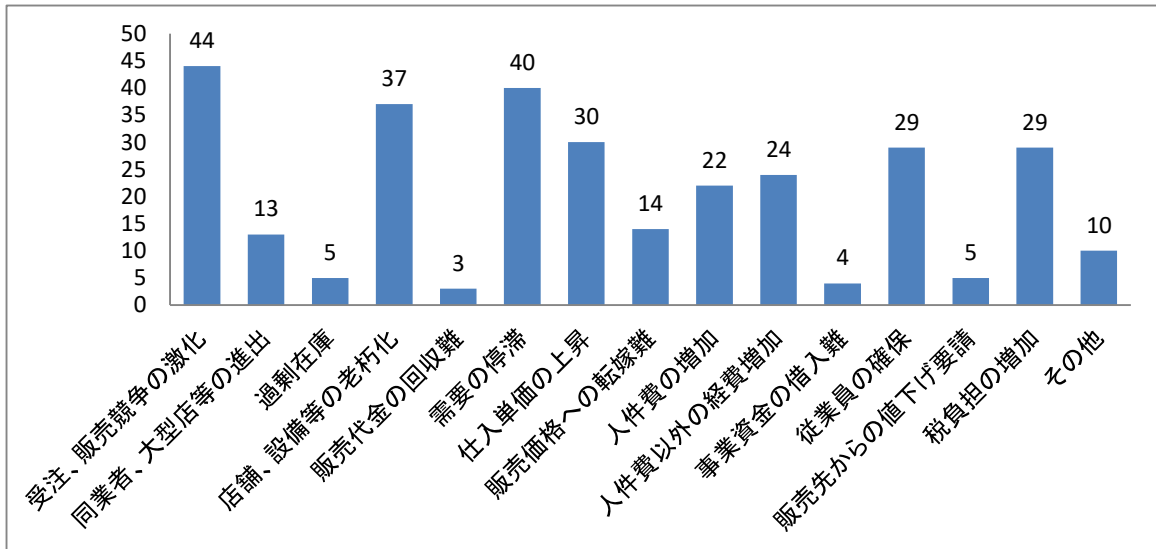
**【景況判断】**

前年同期比、前期比、今後の見通しとも「不変」「悪化」が9割を超えています。今後の見通しでは「悪化」と回答した事業所が増えており、特に製造業、建設業では約半数が「悪化」と回答しており、景況感は厳しいことが伺えます。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
9	65	46	9	71	39	8	55	56
7.5%	54.2%	38.3%	7.6%	59.6%	32.8%	6.7%	46.2%	47.1%

**【経営上の問題点】**

「競争の激化」が最も多く、次いで「需要の停滞」「店舗、設備等の老朽化」となっています。業種別でみると製造業、卸・小売業で「店舗、設備等の老朽化」が最も多く、建設業は「従業員の確保」、サービス業は「需要の停滞」を挙げており、業種・業態を反映した課題を抱えていることが伺えます。「税負担の増加」も昨年調査より9件増えており消費税増税の影響を受けていることが伺えます。



### 3. 産業別景況概要

#### (1) 製造業

製造業では、売上高、採算とも前期比では「減少」「悪化」と回答した事業所は減っていますが、今後の見通しでは、全ての項目で「減少」「悪化」が増えており、今後の見通しは厳しい状況となっています。

また、50%の事業所で後継者がいないと回答しており、先行きに不安を抱える事業所が多くなっています。

経営上の問題点では、「店舗、設備等の老朽化」「受注、販売競争の激化」「需要の停滞」を挙げる事業所が多くありました。

#### (2) 建設業

建設業では、全ての項目で前期比は「増加」「好転」「不変」が大半を占めており好調を維持している事業所が多くありましたが、今後の見通しでは「減少」「悪化」と回答する事業所が増えており、今後は厳しい見通しとなっています。

また、58%の事業所で後継者がいないと回答しており、先行きに不安を抱える事業所が多くなっています。

経営上の問題点では、業界全体で以前から言われている「従業員の確保」が最も多く、次いで「受注、販売競争の激化」「人件費の増加」が挙げられています。

#### (3) 卸・小売業

卸・小売業では、前期比では好調を伺わせる回答が多くありましたが、今後の見通しについては、「減少」「悪化」の回答が増えており、今後の見通しは厳しい状況となっています。

また、64%の事業所で後継者がいないと回答しており、先行きに不安を抱える事業所が多くなっています。

経営上の問題点では、「店舗、設備等の老朽化」「受注、販売競争の激化」「仕入単価の上昇」の順で回答が多く、資金繰りと合わせて、厳しい状況となっています。

#### (4) サービス業等

サービス業等では、前年同期比、前期比、今後の見通しとも同じような傾向となっていますが、今後の見通しでは「悪化」「減少」が若干増えており、景況感は厳しくなっています。

また、55%の事業所で後継者がいないと回答しており、先行きに不安を抱える事業所が多くなっています。

経営上の問題点では、「需要の停滞」「税負担の増加」「受注、販売競争の激化」「仕入単価の上昇」の順で回答が多く、消費税増税の影響を受けていることが伺えます。

(様式-1)

## 景況調査ヒアリングシート (令和元年度)

調査対象期間 令和元年7月～12月

(調査時点 令和元年12月1日)

調査日：令和元年12月\_\_\_\_日

商工会名	商工会	担当職員名	
企業の概要	業種	1：製造 2：建設 3：卸・小売業 4：サービス他	
	従業員数	1：0人 2：1人～2人 3：3人～5人 4：6人～20人 5：20人超	
	企業区分	1：小規模事業者 2：小規模事業者以外	
	後継者の有無	1：有 2：無	

(1) 貴社の状況についてお答えください。(該当する番号に○を付してください。)

	前年同期(H30年7～12月) と比較して	前期(H31年1月～6月) と比較して	今期(R1年7～12月)と 比較した来期(R2年1～6月) の見通し
売上	1.増加 2.不変 3.減少	1.増加 2.不変 3.減少	1.増加 2.不変 3.減少
採算(経常利益)	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化
仕入単価	1.上昇 2.不変 3.低下	1.上昇 2.不変 3.低下	1.上昇 2.不変 3.低下
販売(客)単価	1.上昇 2.不変 3.低下	1.上昇 2.不変 3.低下	1.上昇 2.不変 3.低下
資金繰り	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化
雇用動向	1.増加 2.不変 3.減少	1.増加 2.不変 3.減少	1.増加 2.不変 3.減少
景況判断	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化	1.好転 2.不変 3.悪化

(2) 貴社の経営上の問題点(下記より上位3つまでを選び、○を付してください。)

1. 受注、販売競争の激化
2. 同業者、大型店等の進出
3. 過剰在庫
4. 店舗、設備等の老朽化
5. 販売代金の回収難
6. 需要の停滞
7. 仕入単価の上昇
8. 販売価格への転嫁難
9. 人件費の増加
10. 人件費以外の経費増加
11. 事業資金の借入難
12. 従業員の確保
13. 販売先からの値下げ要請
14. 税負担の増加
15. その他(\_\_\_\_\_)

(3) 今後の事業・経営において強化したい点(設備投資・販路開拓等)

--